

管理機関名：協同組合産業社会研究会経営革新会議

## プロジェクト名

### 世界で差別化できる医療用の研究・分析支援機器の開発・事業化

事業の背景（地域の産業集積やグループの強み・特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

昨今の生産現場の海外移転に伴い、東北地域のものづくり中小企業は、従来の労働集約型産業から高付加価値産業へ、また下請けから自社製品ビジネスに転換することで、地域が自立することが必須課題となっている。岩手県の産業政策は、自動車、半導体、医療の3本柱を掲げているが医療分野は未だ事業規模が小さく、今後地域の将来に向けて、医療関連産業の参入拡大が待望されている。

このような背景の中、いわて医療機器事業化研究会を母体に、東北地域にライフサイエンス機器を迅速に創出できる集積拠点の形成を目指して、企業を中核に大学・研究機関、金融機関、自治体等も参画してTOLIC(Tohoku Life science Instruments Cluster)が平成26年8月に設立された。

このTOLICに参画する企業グループが中心となって先駆けとなる2つの医療用研究・分析機器システムの開発を進め世界で差別化できる製品として事業化するため新たな企業の参画による部品・ユニットの開発・供給を行い、世界展開のための販路開拓も並行して行うことが必要となっている。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

以下の2つのシステムについて、プロジェクトグループ形成から製品仕様作成、製品評価とともに、試作機を国内・海外に展開するためのマーケティング調査を行い、事業化を進める。

- ① **分注バリデーション・ソリューションシステム**: 世界初の無線通信ペン型電動ピペット「pipetty-Pro」をベースに、各国の医療関係機関から求められている分注作業全体を自動的に最短時間でバリデートするシステム
- ② **癌個別化診断ツールのためのセルピッキングシステム**: まだ転移する前の血液中を極微量に流れ始めているがん細胞(CTC: Circulating Tumor Cell)を捕縛し、早期段階で原因となるがん細胞をDNA解析することで個別化医療に資する、末梢血循環癌細胞1個をピッキングするシステム

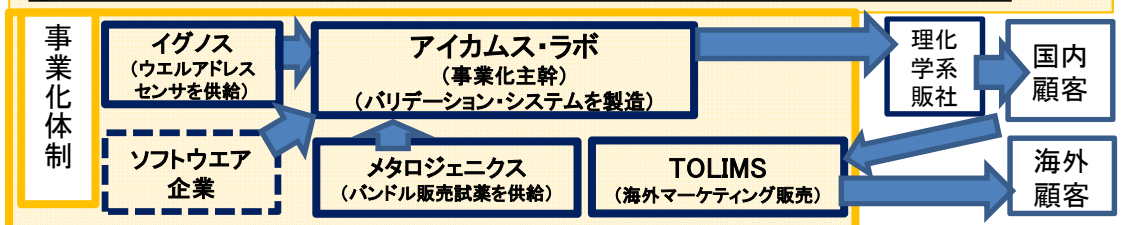
## 連携・グループ化の目的・期待効果

From (技術、製品、仕組み、販路等) To (技術、製品、仕組み、販路等)

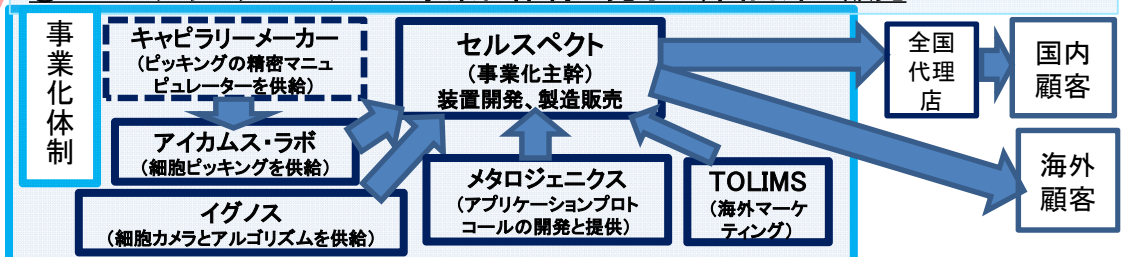
From (技術、製品、仕組み、販路等)

・ソフトウェア及びキャピラリー供給企業との連携による事業化体制の構築が必要  
・開発製品の国内外への販売体制の構築が必要

### ①分注バリデーション・ソリューションシステムの事業化体制が完了し、国内外に販売



### ②セルピッキングシステムの事業化体制が完了し、国内外に販売



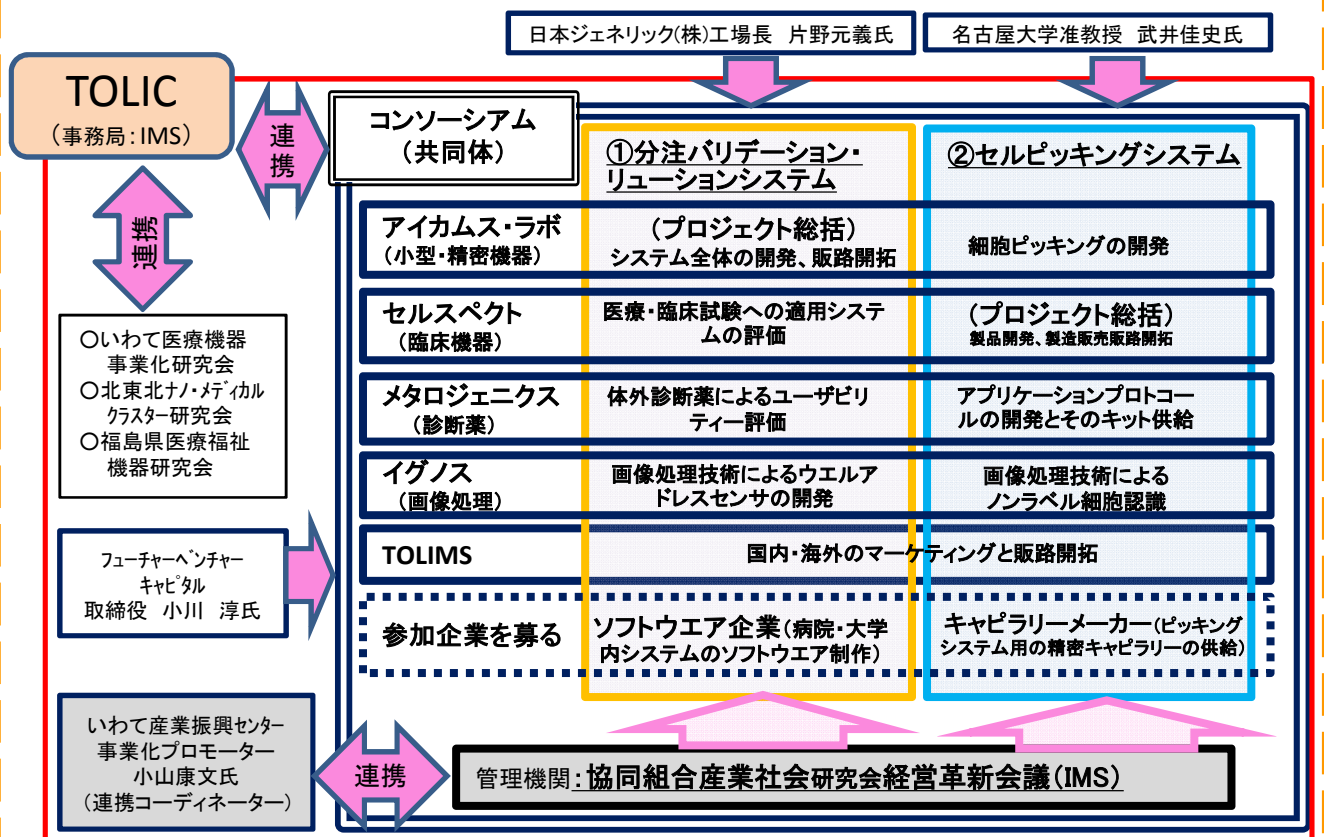
## この事業実現のためのキーファクター

- ① カンファレンスの開催やいわて医療機器事業化研究会、北東北ナノ・メディカルクラスター研究会、TOLICなどとの連携による新たな企業の発掘
- ② プロジェクトミーティングの開催などによる2つのシステムそれぞれの試作機の仕様決定と、試作、評価、事業化計画案の作成
- ③ 国内外の展示会調査や出展とともに、国内外の関係機関や企業訪問調査などによる試作機のマーケティング調査

## コンソーシアム又はグループの構成

- ① (株)アイカムス・ラボ (コア企業)  
 保有リソース：マイクロ技術による小型・精密機器の開発・製造・販売  
 役割：分注バリデーション・ソリューションシステムのプロジェクト総括及び事業化主幹
- ② セルスペクト(株) (コア企業)  
 保有リソース：医療機器向け基盤技術及び分析装置・診断薬の開発・製造・販売、新規バイオマーカーの臨床開発  
 役割：癌個別化診断ツールのためのセルピッキングシステムのプロジェクト総括及び事業化主幹

テーマ：世界で差別化できる医療用の研究・分析支援機器の開発・事業化



## コンソーシアムの決意表明

「分注バリデーション・ソリューションシステム」と「癌個別化診断ツールのためのセルピッキングシステム」を世界で差別化できる医療用研究・分析機器として事業化するとともに、TOLICなどと連携して新たなライフサイエンス機器の創出集積拠点の形成を目指す。